

改訂版 大学・大学院

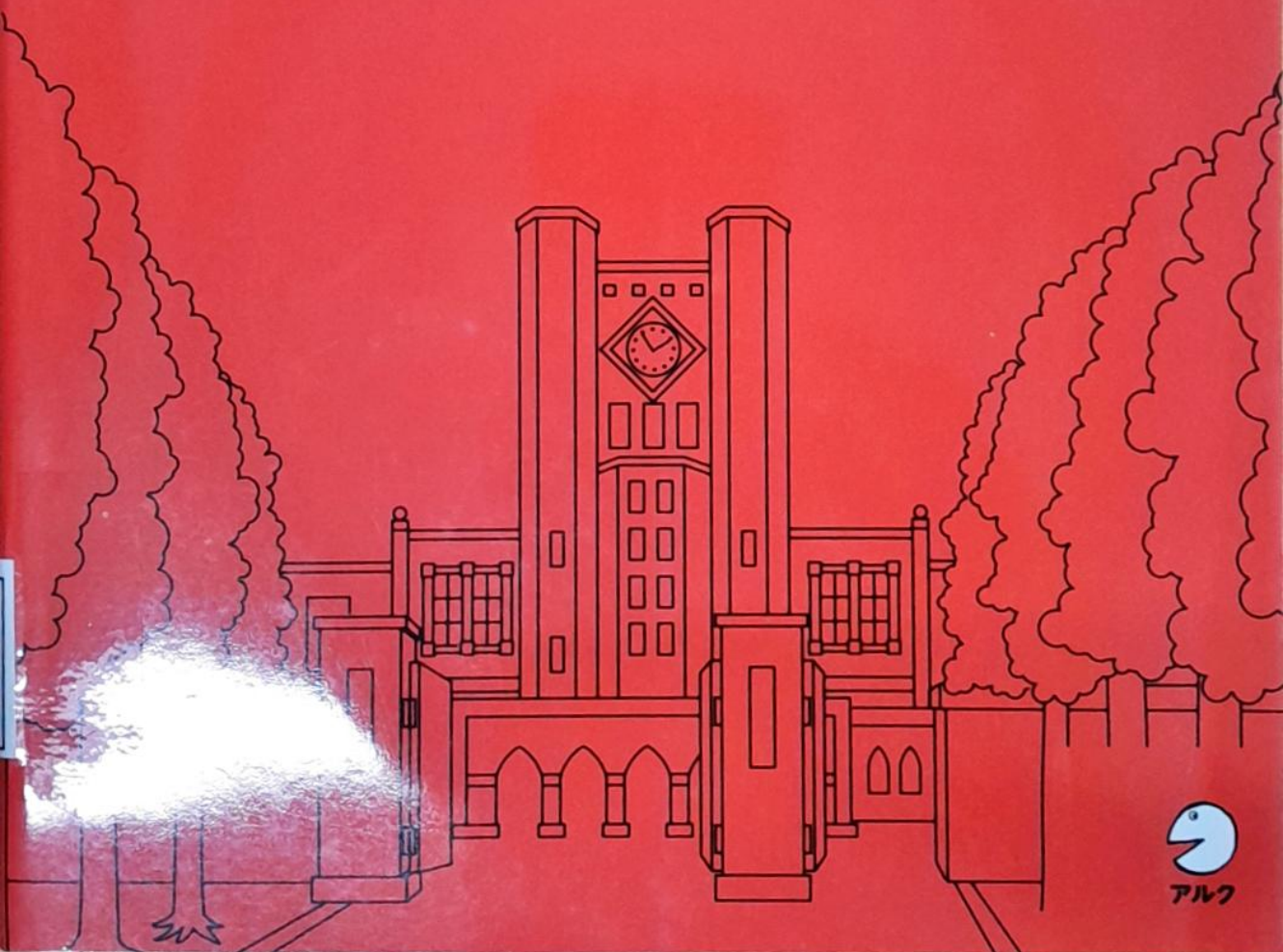
留学生の日本語

① 読解編 — Reading Comprehension —

Japanese for International College / Graduate Students

▶ アカデミック・ジャパニーズ研究会 編著

音声
ダウンロード
特典あり



改訂版 大学・大学院

留学生の日本語

① 読解編 — Reading Comprehension —

Japanese for International College / Graduate Students

▶ アカデミック・ジャパニーズ研究会 編著



はじめに

『大学・大学院留学生の日本語』は、日本の高等教育機関の専門分野の勉強をしようとする留学生などのために作成されたシリーズ教材です。これから日本の大学に入る人、高専や大学で学んでいる留学生、大学院入学をめざす研究生、大学院で研究している留学生や外国人研究者など、学術的な専門分野で勉学・研究をしようとするすべての日本語学習者が対象です。また、このシリーズ教材は、各専門分野にほぼ共通する専門日本語の土台の部分を取っていますので、文科系、理科系を問わず、どの分野の学習者にも役にたつ内容となっています。日本語の学習段階でいえば、読解編と作文編は中級、続刊の論文読解編と論文作成編は中級後半から上級、漢字語彙編は中級から上級に対応しています。

このシリーズ教材の最大の特徴は、専門分野での勉学・研究に不可欠な論理的思考による理解・表現能力の養成をめざしている点です。日本語の文法の積み上げ学習をし、たくさん言葉を覚えても、論理的な文章の読み書きのしかたがわからないために、大学・大学院での勉学や研究に困難を感じている学習者が少なくありません。そこで、論理的な文章がどのようなものかということが練習を重ねていくうちに自然にわかり、最後には論理的文章を読み書きする力が確実につくような教材として、このシリーズ教材を作りました。

読解教材では、素材となる文章の論理的構造に着目した読みのスキルの習得をめざしています。読解編では報告文や論説文を読む力をつけ、論文読解編では学術論文を読むための基礎的な読解力を養います。一方、作文教材では、論文等の構成や展開パターンに即した練習を積みかさねることによって、学術的文章の作成技術の獲得をめざします。作文編では研究計画書の書き方を、論文作成編ではレポート、研究発表要旨、学術論文の基本的な書き方を学びます。漢字語彙編ではこれらに共通する漢字語彙を学びます。

シリーズ中の各テキストは、一冊だけで学習することもできますが、併用すれば、より大きな学習効果が得られます。たとえば、読解編と作文編の各課の学習項目は、二冊を同時進行で使えばいっそう効果があがるように作られています。続刊の論文読解編と論文作成編の関係も同様です。また、読解編や作文編を終えた人は、論文読解編や論文作成編に進めば、より高次の読解力、作文力を身につけることができますでしょう。

このシリーズ教材は、東北地方の6大学の日本語教育関係者が、グループ内の執筆担当者が作った教材をくりかえし試用・補訂するかたちで、共同で作成したものです。数年にわたる教材作成の過程で、東京工業大学の仁科喜久子先生をはじめ、多くの方々に貴重なご助言とあたたかい励ましをいただきました。各専門分野の先生方や留学生にも、教材作成の素材や参考資料となる研究文献を快く提供していただきました。また、今回出版のはこびとなったのは、ひとえに株式会社アルク日本語編集チームのご理解とご支援のためものです。協力者の方々に心から感謝の意を表します。

本書をお使いになる方へ

ほんしょ つか かた

1. 本書の目的

ほんしょ もくてき

- ・専門分野のレポート、論文、専門書などの論理的な文章を読むための基礎的な読解技術を養成することをめざしています。

- ・この教材がめざす基礎的な読解技術とは、次のものです。

①文章構造に関する知識、文章の論理構造に関する知識、文法に関する知識

②前読み、段落読み、情報検索、アウトライン作成、あと読み、言い換え・分節等の語句を手がかりにした読みなどの読解スキル

これらを項目とし、明示的に提出しています。学習者は、意識してこれらの項目を学習することにより、読む力を効率的に身につけることができます。

2. 本書の特徴

ほんしょ とくちょう

- ・第Ⅰ部（第1～11課）と第Ⅱ部（第12～14課）から構成されています。第Ⅰ部では基礎的な項目を学習します。第Ⅱ部ではそれをもとに、レポート、研究計画書、論文（部）を読みます。

- ・本文の文章は、どの分野の学習者も知的好奇心をそえられるような内容で、しかも論理的な構造を持った文章です。

- ・本文の文章には原典を著作権者の了解を得て学習の目的に合うように書き変えたものと、本書の執筆担当者が書き下ろしたものがあります。

- ・重要語を▶語句の欄に挙げ、英訳、中国語訳、韓国語訳、ベトナム語訳をつけました。

- ・各項目ごとに、ねらいを明確にした練習問題を数多く設けてあります。

- ・漢字のふりがなは、原則として漢字が読みの障害とならないように初級後半以上程度の漢字語句および読みかえ漢字にふりがなをつけました。ふりがなのつけかたは、親字の

下部とし、同一語句は、原則として各ページの初出の語句のみにふりがなをつけました。

3. 各課の構成と内容

かく か こうせい ないよう

- ・各課は、次の学習項目から構成されています。

第Ⅰ部 (第1～11課)

- Ⅰ 読む前に
Ⅱ 本文
Ⅲ 読みの練習
Ⅳ 構造
Ⅴ 読むための文法
Ⅵ 読んだあとで

第Ⅱ部 (第12～14課)

- Ⅰ 読む前に
Ⅱ 本文
Ⅲ 理解問題
Ⅳ 読んだあとで

I 読む前に

・各課のⅠを通して、以下の読解ストラテジーの育成を目指しています。

①題名や図、絵から内容を予測する

②トピックについて考え、また、学習者どうし話し合うことで、既有知識を活性化させ、読みの手がかりとする

③自分なりの課題・目標を設定することで、積極的に読む

Ⅲ 読みの練習 (第Ⅰ部)

・【問題】を順に解いていくことによって、全体の把握から細部の理解へという手順で本文が読めるように構成されています。段落読み (パラグラフ・リーディング)、情報検索 (スキヤニング)、論理関係の分析などの読解スキルを習得します。

・スキヤニングの練習のため、この部分の日本語にはふりがながありません。学習者はまず漢字の形から検索する練習をします。

Ⅲ 理解問題 (第Ⅱ部)

・文章構成、論理関係、細部の意味の理解度を確認します。

Ⅳ 構造 (第Ⅰ部)

・第1～3課で文章の構造について学びます。第3～11課で論理の構造を学びます。

・文章の構造：一語一語辞書を引きながら読んでいくのではなく、まず中心文を手がかりに各段落の主題を把握し、それによって文章全体の流れをつかみます。このように、各課の本文を、全体の流れを把握してから精読へ進むという手順で読むことによって、長い文章を効率的かつ正確に把握する力をつけていきます。

- ・ 論理の構造：論理的なつながりを示す表現と展開パターンを学習することで、レポート、論文などの読解に重要な、語と語、文と文、段落と段落の論理的関係を正確にとらえ、また、筆者の考え、意図を理解する力をつけます。

V 読むための文法 (第I部)

- ・ 論理的文章に使われる頻度の高い項目を、読解の文法として学習します。

VI 読んだあとで (第II部はIV)

- ・ 本文の内容を要約する、読む前に行った推測と照合する、読む前に設定した課題の答えを述べるなどによって、内容の理解を確認します。

読解の手がかり

- ・ 語構成、関連語、上位語・下位語、言い換えなど、漢字語句を手がかりにした読み方を学習します。

4 授業での扱い方

- ・ クラスのタイプと時間数に合わせて、様々な扱い方が考えられます。
- ・ 複数の大学における数年にわたる試用の結果、第I部については、授業の手順として次のような方法が可能でした。

- ① I → II → III → IV → V → VI (本文を読んでから構造、文法を学習する)
- ② IV → V → I → II → III → VI (構造、文法を学習してから本文を読む)
- ③ I → II → III → IV → V → VI → II (①のあと最後にもう一度本文を読む)

- ・ 項目の説明部分の日本語は、中級のレベルの学習者にとってやや難しく、理解するのに時間がかかります。慣れるまでは、授業をなさる先生がクラスに合わせて口頭で、あるいは図を板書するなどして説明されることが必要と思われます。
- ・ 各課については別冊子の解説をごらんください。
- ・ 本教材には語句の練習問題がありません。クラスに合わせ、語句の練習問題や宿題を作ることをお勧めします。巻末の【構造・文法で取り上げた表現】、【語句索引】が参考になります。

執筆担当 稲村真理子

目次

はじめに	3
本書をお使いになる方へ	4
第 I 部	9
だい ぶ	
第 1 課 言葉の役割	10
だい か こと ば やくわり	
構造	: 文章の構造 段落内の構造
こうぞう ぶんしりょう こうぞう だんらくない こうぞう	
読むための文法	: 書き言葉の文体
よ ぶんぽう か こと ば ぶんたい	
第 2 課 イルカと超音波	16
だい か ちようおん ば	
構造	: 中心文 支持文
こうぞう ちゅうしんぶん しじ ぶん	
読むための文法	: 連用中止形
よ ぶんぽう れんようちゅうし けい	
第 3 課 地図の分類	23
だい か ち ず ぶんるい	
構造	: アウトライン 論理の構造 分類
こうぞう ちんりん りんり こうぞう ぶんるい	
読むための文法	: 文の構造 1. 主語・述語 2. 名詞句
よ ぶんぽう ぶん こうぞう しゅご じゆご めいし ぐ	
読解の手がかり①	30
どっかい て	
第 4 課 睡眠時間—短眠と長眠	31
だい か すいみん じ かん たんみん ちようみん	
構造	: 定義
こうぞう ていぎ	
読むための文法	: 「こと」
よ ぶんぽう	
第 5 課 日時計	37
だい か ひ じ けい	
構造	: 経過
こうぞう けい か	
読むための文法	: 助詞相当語
よ ぶんぽう じょし せうとうご	
読解の手がかり②	45
どっかい て	
第 6 課 研究者の二つのタイプ	46
だい か けんきゆうしゃ ふた	
構造	: 比較・対照
こうぞう ひ かく たいしりょう	
読むための文法	: 指示語
よ ぶんぽう しじご	
第 7 課 地球温暖化	53
だい か ちきゅうおんだん か	
構造	: 原因・結果
こうぞう げんいん けつ ぐ	
読むための文法	: 従属節①
よ ぶんぽう じゆくせつ	
読解の手がかり③	62
どっかい て	

第8課 風呂場の戸 63

構造 こうぞう	: 位置 いち
読むための文法 よ ぶんぽう	: 従属節② 間接疑問 【*】ぞくせつ かんせつ ぎ もん

第9課 手で数を表す 70

構造 こうぞう	: 列举 順序 れっきょ じゅんじょ
読むための文法 よ ぶんぽう	: 接続表現① せつぞくひょうげん

読解の手がかり④ 78

第10課 文明はどのように伝わったか - 1「茶」 79

構造 こうぞう	: 理由・根拠 りゆう こんきょ
読むための文法 よ ぶんぽう	: 接続表現② せつぞくひょうげん

読解の手がかり⑤ 87

第11課 文明はどのように伝わったか - 2「タとハタケ」 88

構造 こうぞう	: 筆者の意見を表す表現 ひっしや いけん あらわ ひょうげん
読むための文法 よ ぶんぽう	: 反語疑問文 はんご ぎもんぶん

第Ⅱ部 95

第12課 クラスの自動車利用行動 96

第13課 台湾南部の客家社会についての一考察 103

第14課 人間とロボットの協調動作に関する研究 108

読むための文法 項目一覧 115

構造・文法で取り上げた表現 116

語句索引 118

出典一覧 123

【凡例】

(1) ▶ 語句 の番号は、本文の文の番号です。

例 2 挙げる：本文の文2にある語句「挙げる」(P.11) を意味します。

(2) * が付いている語は ▶ 語句 に訳が挙げられている語です。

市瀬 智紀 (いちのせ とものり)	高木 裕子 (たかぎ ひろこ)
*稲村 真理子 (いなむら まりこ)	中島 美樹子 (なかじま みきこ)
内山 敦子 (うちやま あつこ)	仁科 浩美 (にしな ひろみ)
岡崎 正道 (おかざき まさみち)	福島 悦子 (ふくしま えつこ)
小山 宣子 (おやま のぶこ)	松岡 洋子 (まつおか ようこ)
川上 郁雄 (かわかみ いくお)	宮本 律子 (みやもと りつこ)
小池 恵己子 (こいけ えみこ)	山口 弘美 (やまぐち ひろみ)
佐々木 順子 (ささき よりこ)	山田 一裕 (やまだ かずひろ)
佐藤 勢紀子 (さとう せきこ)	(*は執筆担当者)

このテキストについてのご意見などありましたら、下記までご連絡ください。

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学高度教養教育・学生支援機構 気付

アカデミック・ジャパニーズ研究会

改訂版 大学・大学院 留学生の日本語 ①読解編

発行日	2001年10月10日(初版) 2015年5月28日(改訂版) 2017年6月9日(改訂版第3刷)
編著者	アカデミック・ジャパニーズ研究会
編集	株式会社アルク出版編集部、株式会社エディボック
デザイン・DTP	株式会社エディボック、株式会社エヌ・オフィス
印刷・製本	萩原印刷株式会社
発行者	平本照磨
発行所	株式会社アルク 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-6 市ヶ谷ビル TEL:03-3556-5501 FAX:03-3556-1370 Email:csss@alc.co.jp Website: http://www.alc.co.jp/

落丁本、乱丁本は弊社にてお取り替えいたしております。アルクお客様センター(電話: 03-3556-5501 受付時間: 平日9時~17時)までご相談ください。本書の全部または一部の無断転載を禁じます。著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。定価はカバーに表示しております。

製品サポート: <http://www.alc.co.jp/usersupport/>

©2015 稲村真理子 / 市瀬智紀 / 内山敦子 / 大口健志 / 岡崎正道 / 小山宣子 / 川上郁雄 / 小池恵己子 / 佐々木順子 / 佐藤勢紀子 / 高木裕子 / 中島美樹子 / 仁科浩美 / 福島悦子 / 松岡洋子 / 宮本律子 / 山口弘美 / 山田一裕 / ALC PRESS INC.
Printed in Japan.

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル
「地球人マーク」です。